

## 多重投稿・多重出版に関する「Otology Japan」基本方針

編集委員会担当理事 曾根三千彦  
内田育恵  
編集委員会委員長 假谷 伸  
副委員長 水足邦雄

日本耳科学会では、原則として許容されない科学論文の重複発表に関して、改めて会員へ注意喚起致します。Otology Japan 誌への投稿に際しては、下記の点に十分ご配慮くださいますようお願い申し上げます。

日本耳科学会編集委員会では、日本医学会医学雑誌編集ガイドラインに則り、「Otology Japan」に掲載される出版の二重性・余剰性を、「同一内容の原稿を、同一言語、複数言語にかかわらず、同時に、複数の雑誌に投稿することである」と定義しています。これには、研究対象や方法論、結果およびその解釈の既出論文もしくは投稿中論文との同一性あるいは類似性を含みます。図表やデータの既出論文からの使用も、二重出版に相当します。英文論文と和文論文のように、国際的には異なる言語であっても同じ内容であれば二重投稿であると規定されています。詳しくは、[https://jams.med.or.jp/guideline/jamje\\_2022.pdf](https://jams.med.or.jp/guideline/jamje_2022.pdf) をご覧下さい。

論文の投稿に際し、少しでも多重投稿に該当する可能性が懸念される場合には、筆者はそのことを編集者に通知すると共に、多重出版ではないと判断すべき理由を説明する必要があります。なお、多重投稿・多重出版であると判断された場合には、出版社や多重出版先の編集委員会等とも協議の上、一定の対応措置が取られます。その場合、責任著者のみならず、すべての共著者にも共同の責任があり、同様の措置がとられることがありますので十分にご注意下さい。

以上